



復興ニュース

164号
2017年
12月1日

スポーツ特区推進第2回シンポジウム 予想を上回る参加者に感謝！



元国土交通省環境庁官の溝畑宏氏を迎えての「三陸気仙広域連携スポーツ特区推進第2回シンポジウム」は、11月22日午後陸前高田市コミュニティホールで行った。

現在の被災地は復興需要によって一定の景気を持続しているが、あと数年後には被災前を下回る景気になると予想され、各自治体でもその対策に頭を悩ませている。そのためにも交流人口増へ色々の対策が求められ、スポーツ振興は住民の健康増進だけではなく、大会による宿泊や食事お土産の購入など、多

くの波及効果があることから、主催者としてはスポーツ特区指定へ皆で考える機会として開催した。

基調講演の溝畑宏氏は、東北には美しい自然景観と人情があり、さらに健康や食への関心が高まって来ている。スポーツによる地域振興は最も大切であり、それも世界から注目されるような事業展開が大切である。その事業実現には目標や実施年月を明確にし明確な責任者が必要だ。

東北への外国人旅行客は年6万人ほどであり、まだまだ努力しなければならない、そのためにも人材育成が大切であり、食文化を一流にするために外国へ派遣しシェフを育てるなども、外国に知人を持つことも考えべきである。

基調講演後のパネルディスカッションでは、沿岸広域振興局長から岩手県では昨年開催の国体を受けて、今年度から「文化スポーツ部」を新たに設置し、各局にスポーツ特命課長を配置した。2年後にはワールドカップ、翌年にはオリンピックも開かれる。外国の方々に被災地の復興の姿を見せ「ありがとう」と感謝したい。

また、岩田智岩手県立宮古短大教授や金野廣悦陸前高田市体育協会会長からも「いなかの演出」や「食文化」に磨きをかけなければなど、スポーツ振興と宿泊や食の大切さが話された。

主催は、再生の里ヤルキタウン・夢ネット大船渡・全日本大学及び関東大学女子サッカー連盟、協力・後援に岩手県・気仙2市1町・体育協会・議会等沢山の団体に協力頂いた。特に県大船渡地域振興センターの米内敏明復興推進課長には大変お世話になり心から感謝です。



日頃市中学校(生徒会)から寄付 被災者支援活動を行う夢ネット大船渡へ

今年7月に東京で行われた「東北復興応援チャリティーマラソン」に、日頃市中学生徒会からも参加した際に受け取った支援金から、石楠花荘改築促進協議会とJA おおふなと気仙小枝柿生産部会、当法人へ11月21日に各10万円贈られた。

当日夢ネット大船渡から岩城理事長と西村副理事長が出席し、校長や全校生同席の中杉山治樹生徒会長から渡された。貴重な寄付金であるだけに用途を明確にし被災者のために使いたいと決意している。

ノースジャニー3日間(11月3日~5日)の公演 カリタスお大船渡ベースでは4日開催

地の森実行委員会(夢ネット大船渡岩城理事長ら)は11月4日に大船渡町の「カリタス大船渡ベース」で公演を行った。実際は実行委員会ではなくカリタス大船渡ベース様にたこ焼きやお茶などの提供など大変お世話になった。



カリタス大船渡ベース



千年の広場 最後の演奏

地の森・富沢地域公民館の後援を頂き、事前にチラシも配布して頂いたが、地元の参加者が少なかった。午前10時から午後3時まで演奏の方々10数団体が熱演した。

最後の5日に打ち上げを大船渡市の中心市街地、「キャッセンの千年の広場」でおこなわれ、夢ネット大船渡イベント中の売上金3万余円をご寄付頂きました。頂きました寄付金は三鉄沿線花いっぱい事業に使わせて頂きます。

来年の3月にエドヒガン桜の苗木20本植える さくら並木ネットワークから 甫嶺地区まちづくり委員会へ

三陸町甫嶺まちづくり委員会(及川哲委員長)から、夢ネット大船渡が進めている甫嶺地区の花いっぱい事業の同地域に桜を植えたいが、提供してくれる団体がないものかとの相談を受け、NPO法人さくら並木ネットワークへお願いしたところ、11月13日に現地を見ながら相談したいとの連絡を受けた。

当日はさくら並木ネットワークの理事で東北エリアマネージャーの吉武信幸様が訪問され、現地では及川哲甫嶺まちづくり委員長、地主の及川敬介さん、現地で行っている災害復興工事業者、夢ネット大船渡関係者が立ち合い、現地を計測し植える場所(20本)へポールを立て赤い布で表示した。

吉武理事から植える時期は30年の3月、地元からも植える作業協力者が必要、植える桜は病気に強く、寿命も長い「エドヒガン桜」とする等の説明がなされた。



桜を植える場所へ印



甫嶺地区まちづくり委員会

このことが11月25日開催の第46回甫嶺地区まちづくり委員会から、苗木を植える場所が大きい石がある所(6ヵ所)は、工業者が掘って新しい土を入れたと報告があった。このように地元は準備を進めている。

同席した夢ネット大船渡岩城理事長から、この場所を「ほれい花公園」(仮称)として地元の皆様と一緒に整備したい。来春にはスイセンや菜の花が咲き、秋にはコスモの花、来年度は彼岸花の球根を植えたいと構想が話された。

委員会終了後甫嶺駅海側へ来て、甫嶺地区まちづくり委員会によるソバ畑、地主の及川敬介さんが椿を約400本植えられている、さらに桜が植えられるなら市民に親しまれる花公園も夢ではないと思って来た。

10月14日多くのボランティアの協力で植えたスイセンが、1ヵ月が経過し青い芽を出し始めている。来春が楽しみである。

蛸の浦地区公民館でBDFエコクッキング開催

11月21日に蛸の浦地区公民館で「使用済みてんぷら油」の回収普及するエコクッキングが行われた。

環境パートナーシップいわてが主催し、夢ネット大船渡が協力するイベントで、講師は夢ネット大船渡の新沼孝子理事、多くの地域の方々に参加して頂き心から感謝です。



被災者生きがい支援「手芸講習」 来年の干支「戌」を作る



働く婦人の家での手芸準備作業

大船渡市からの委託契約による手芸講習は、毎月市内15ヵ所で開催している。

指導職員は、来年の干支「戌」づくりを考え、現在試作品を準備作成を行っている。写真のように愛らしい二匹の犬である。

平成30年の1月からの手芸講習の作品は干支づくりとなるのでよろしくお願いします。

12月の大船渡市内の手芸講習日程は下記のとおりです。※原則午後開催

Aグループ

①8日関谷^ア、②13日下館下^ア、③14日上平^ア

④20日居場所ハウス、⑤22日川原^ア

Bグループ

①8日下欠東^ア、②11日長谷堂東団地、③13日みどり町^ア

④15日綾姫ホール、⑤20日所通^ア

Cグループ

①6日後の入仮設、②7日赤沢^ア、③8日蛸の浦^ア(午前)、

④14日宇津野沢^ア、⑤18日長洞仮設(午前)

陸前高田市(4ヵ所)・住田町(1ヵ所)でも開催している。



1月からの手芸講習
干支「戌」です

手芸材料(布や着物等)が贈られる

愛知県大府市の大西さん、千葉市の安田さんから届く



大西さんから届いたケースと手芸職員

これまでも何度も手芸材料の布を贈ってくれた、愛知県大府市の大西百合子さんから、「主人が東北へ行くので手芸材料を持参する受け取ってほしい」と連絡あり、11月1日午前11時に盛駅前でお会いすることにした。

当日時間通りに1台の自動車 came。声をかけると大西さんご主人様でした。名刺を見て驚いた、芸名「タップリン」というマジックトークと笑い、さらにバルーンでどんな動物だって作れる芸人でした。私は初めてお会いしたが、大船渡市へも何度かお出で頂き、当日午後には気仙沼でのボランティア公演が予定されていた。

奥様へ電話しお礼を申し上げると、夢ネット大船渡で

もマジックを披露していることをホームページで知っていた。次回にはぜひ私たちと一緒にイベントすることをお願いし大西様と別れた。

また、千葉市の安田泉様からも手芸材料として着物を贈って頂いた。震災から6年8ヵ月が経過した今でも、被災地を心配して頂き、被災者の皆様に喜んで頂きたいと贈って下さる方々へ心からお礼します。



安田様からの手芸材料

無料法律相談

11月3日午後に吉田弁護士と池田税理士が訪問



東京のヒューマンライツ・ナウ主催、夢ネット大船渡が協力の無料法律相談が行われ、3件の相談があった。どれも本当に切実な相談であったようです。次回は1月か2月の予定です。相談した方は常時受付しているので、お気軽に連絡ください。

マジック講習・披露

11月27日(月)高田高校仮設住宅

高田高校仮設住宅へは3名(岩田・畠山・岩城)で訪問し、約1時間少々マジックを披露し喜んで頂いた。終了してからの懇談会では、震災前の高田町中心地の思い出話に花が咲いた。岩



田さんは高田町お生まれで一時長砂に住んでいたこともあった。岩城は妻の姉が館の沖に住み付近の人たちとも顔なじみ、畠山さんは高田町鳴石に住んでいる。

また、陸前高田市の仮設住宅撤去予定による集約計画から、高田高校仮設は平成30年3月までが入居期限となり、参加した一人の方は来年新築用地が引き渡しになるので、また次の仮設住宅へ引越することになる、もう少しこの仮設に住むことが

出来たらと老いた身を心配していた。



28日(火)広田町大野災害公営住宅

天気の良い日でした。大野団地から太平洋が綺麗に見えるだろうと期待して行っただが、立木などから展望はいまいちでした。

陸前高田市復興支援連絡会の皆様が事前に声掛けしたことにより、参加者は20人ほどと多く集まって頂き、集会場は大変盛り上がった。



マジック会から今日は

菊池と岩城の二人が訪

問しそれぞれ30分ずつ披露した。菊池はハンカチを使った

マジックが多く、岩城はチラシや新聞紙、トランプを使ったものが多く披露した。

参加者からテレビでは見ているが、目の前で見るのが初めだ、マジックは楽しいねと言って頂き、嬉しい励ましの言葉でした。



マジックを終わってからの長生きのコツ等の話し合い、お茶会がさらに盛り上がった。

駅からウォーク 主催:ふれあいウォーキングの会

12月16日(土)に釜石市内被災地の復興見学ウォークです

三鉄釜石駅をスタートに松原町から只越町、イオンタウン(昼食休憩)、魚市場、避難道路、釜石駅等のコースです。ウォーク総距離は約5kmと思う。参加費は一人800円です。

三鉄盛駅集合午前8時30分、盛駅発9:13⇒釜石駅着10時6分 釜石駅スタート10時20分
帰りは釜石駅発14時32分⇒盛駅着15時25分

参加希望者は、当日午前8時30分に三鉄盛駅へお出で下さい。

問い合わせは、090-2278-9703(岩城)

ご近所支え合い活動助成金 募集 12月1日~1月26日

県民が共に助け合い支えあう活動を支援し、安心して暮らし続けることが出来る地域社会を実現するため、県民の社会貢献活動を支援するための助成金制度です。

①助成額は5万円~30万円

②問合せ先 岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター 電話 019-606-1774

ホームページ [岩手県高齢者サポートセンター](#)